

# 武庫川女子大学附属総合ミュージアム

Mukogawa Women's University Museum

附属総合ミュージアム設置準備室ニュース改題

# Museum News

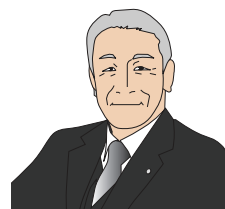
no.1  
2020.6

## 開館に寄せて



登録有形民俗文化財「武庫川女子大学近代衣生活資料」

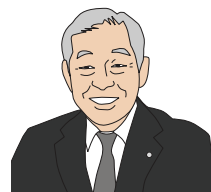
武庫川学院創立 80 周年事業の有終を飾る大学附属総合ミュージアムがめでたく開館され嬉しく思います。又、大学附置研究所としての機能も有し、広く社会に意義ある存在として期待されています。このミュージアムの発端は、前学院長・理事長・学長の日下 晃先生が、明治・大正・昭和に亘る生活用具などの民具が失われていく現状に危機感を覚え、教育・研究に資する為、これらの時代に係わる民具類の収集を始められた事にあります。今日までの収集品の内、この度、和服など 9,092 点が近代衣生活資料として文化庁の登録有形民俗文化財となり、開館に花を添えて頂きました。今後は、創設者の公江 喜市郎先生が収集された多くの絵画などの美術品の展示や、学院史資料の展示の活動も期待されます。



学院長 大河原 量

2014 年にミュージアム設置準備室が開設されたのち、長年の懸案であった研究所の機能を持った大学附属総合ミュージアムが学院創立のポスト 80 周年のスタートとなる 2020 年を機に開設されました。関係の皆様方と共に喜び申し上げます。

総合ミュージアムは学院資料部門、調査研究部門、保存修復研究部門、地域社会連携研究部門、教育部門の 5 部門からなり、学内外への研究成果の公表や展示、自校史教育、学芸員養成など、これまで以上に本学附属としての重みと機能を担うこととなります。創立 100 周年へ向けて本学の象徴的存在となるような成長を期待しています。

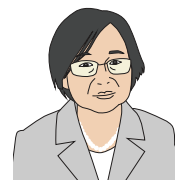


学長 瀬口 和義

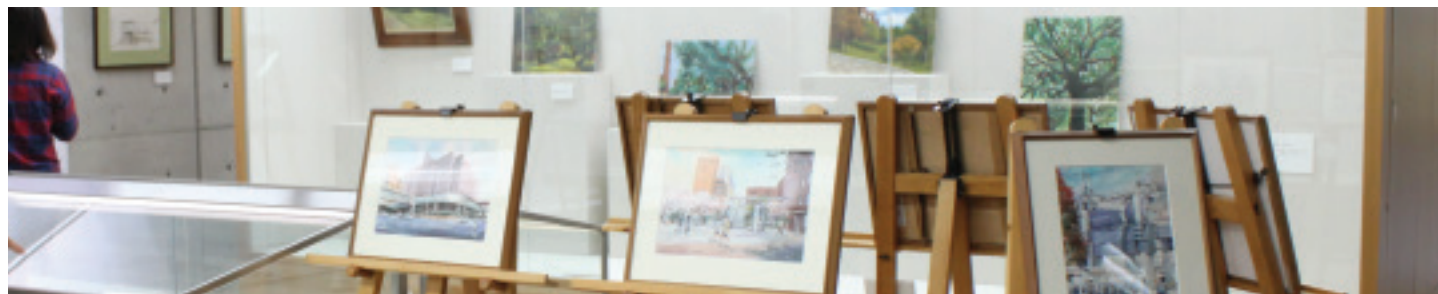
武庫川女子大学附属総合ミュージアムは、同準備室から令和 2 年 2 月 25 日の学院創立記念日を機に開館し、この 4 月から附置研究所として活動を開始しました。

5 部門にわたる調査研究と教育活動を推進し、本学院の未来に能動的に貢献するべく、体制を整えました。卒業研究をはじめ、大学内外の研究者による資料の活用のみならず、当館が、地域の皆様にとっても、知的啓発の場となり、芸術と文化に触れることができ、愛着が持てる場となることを目指してまいります。

年 3 回の展示をご覧いただくのは勿論のこと、ぜひ「百聞は一見に如かず」のミュージアムをご活用いただきますよう、お待ちしております。



館長 横川 公子



2019 年度春季展「描かれたキャンパスー武庫川学院の景観ー」展示風景

# ミュージアムの体制について

資料との関わり方で、各部門の働きを説明をしています。

## 資料

館長  
運営委員会  
学芸員(助教)  
事務担当

基本業務

- ・ミュージアムの運営 ・学内外への広報
- ・資料の受け入れ検討、手続き
- ・資料の基礎調査・データベース入力など

### 研究部門

リーダー：建築学科 宇野朋子准教授

資料を様々な分野から

調査・研究し、展示を行う

基本業務

- ・受け入れ資料の調査研究
- ・定期的な展示会の開催
- ・紀要や研究報告書の発行

### 学院資料部門

リーダー：横川公子館長

資料が学院資料の場合には  
年史のエピソード収集などに活用する

基本業務

- ・学院資料の収集
- ・学院史の構築
- ・自校教育への活用

### 史資料調査 学科委員会

### 教育部門

リーダー：情報メディア学科 株本訓久准教授  
日本語日本文学科 佐藤勝之教授

資料を学芸員課程や  
授業などで活用する

基本業務

- ・学芸員課程運営
- ・授業、卒業研究等での  
資料活用と支援など

### 地域社会連携 研究部門

リーダー：薬学科 奥尚枝准教授

資料を他の大学や博物館、地域の研究者と  
連携して研究する

基本業務

- ・地域の文化や資料調査
- ・他の大学や博物館と連携して  
展示および研究
- ・学内教職員の連携による研究

### 保存修復 研究部門

リーダー：生活環境学科 井上雅人准教授

資料の状態を確認し  
必要に応じて修復を行う

基本業務

- ・資料の状態を確認
- ・適切な修復と保存管理

### 資料修復 講座

### 学内

- ・教職員
- ・学生(卒業研究等)
- ・授業

### 鳴松会

### 学外

- ・他大学
- ・博物館、美術館
- ・地域社会

## 展示会

学院史資料の  
全件リスト化を  
開始しています

附属総合ミュージアムでは  
研究員(学内限定)を募集します。  
ご希望の方はメールなどでご連絡ください。

# 学芸員新課程 について

令和3年度からスタートする学芸員新課程の移行手続きは  
2020年3月に完了しました。

## 学芸員の仕事について①

### 学芸員ってどんなお仕事？

附属総合ミュージアム 樋口温子助教・学芸員



「学芸員って何をする人？」「展示がなかったらずっと休み？」  
よく投げかけられる質問です。

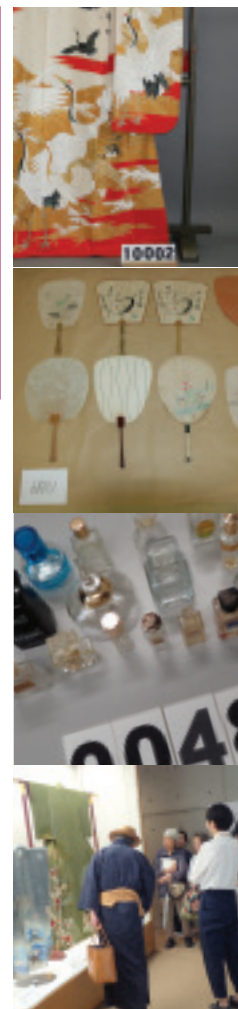
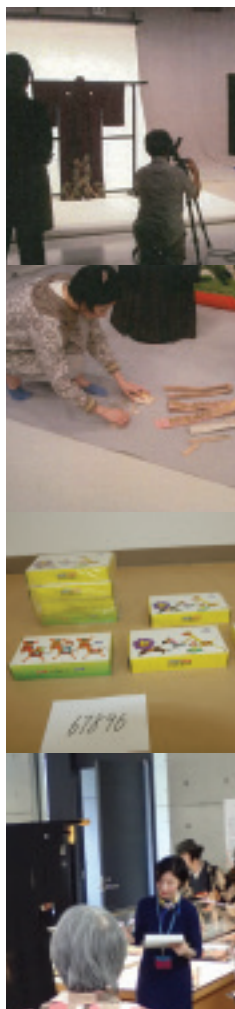
学芸員は、「博物館法」に定められた「博物館におかれる専門  
的職員」です。主な職務は次の通りです。

- ① 収集・整理 / ② 保管・保存 / ③ 展示・活用
- ④ 調査研究
- ⑤ 教育普及活動等，博物館資料と関連する事業

華やかな展示が主な活動と思われがちですが、当館の場合、実際には、  
展示に至るまでの地道な資料の整理と調査研究の作業が、業務の大半を占  
めています。具体的には、資料の採寸、写真撮影、ナンバリングを行い、  
基本情報をデータ化し、そのデータをもとに研究に生かせるよう分類を行っ  
ていく、という流れです。展示会を休止している今は特に、公開データベ  
ースの構築に力を注いでいます。資料の状態に応じて、保管方法や修復方法  
を検討するのも大切な仕事の一つです。

展示会の開催にあたっては、展示内容の検討、展示資料の選定、展示の  
設営、図録の編集・執筆、広報、関連シンポジウムの運営、ギャラリートー  
クの実施など、ありとあらゆることを行います。

常に資料に直接向き合って調査研究ができ、その魅力を発信できること  
が学芸員の仕事の醍醐味でしょう。私は、収蔵庫で眠っていた資料の魅力  
を発掘できた時、そして展示を見てくださった方にそれが伝わった時、特  
に学芸員としてのやりがいを感じます。



## コラム：学芸員課程のこと

日本語日本文学科 佐藤勝之教授



現在のところ大学日文科の学生だけが学芸員課程（学  
芸員養成課程）を履修できる規程になっている関係で、  
学芸員課程に関わる委員会に参加することになりました。  
私自身は学芸員の資格を持っていない素人なの  
ですが、学芸員は国の法律（博物館法）に定められた  
資格で、職場は博物館・美術館や各種資料館にとどま  
らず動物園・水族館など多様であり、その仕事も資料  
収集・調査研究から企画展示まで幅広く、学芸員は紛  
れもなく日本の文化活動の中核を担う存在だというこ  
とを改めて知ったところです。

この度、武庫川女子大学附属総合ミュージアムが設

置され、その教育部門に学芸員課程が置かれて、さらに、  
希望する多くの学科にこの課程が開かれたことはとて  
も有意義なことです。共通教育以外で他学科の学生と  
机を並べる機会があまりない本学では、そこに生まれ  
るだろう何気ないやりとりが学生の知見を広めるのに  
大いに役立つことでしょう。もちろん、附属総合ミュ  
ージアムに所蔵される近代の様々なきものや生活道具な  
どに触れながら、地域の歴史と文化を自然に身に付け  
られるのは願ってもないことです。

ミュージアムの発展とともに学芸員課程の新たな展  
開を大いに期待しています。



## IR 館1階に 常設展示コーナー 開設しました

IR 館1階フロアに常設コーナーを  
新設しました。

登録有形民俗文化財の紹介のために  
資料を定期的に公開します。



左：名古屋帯、中央：袋物各種、右：教育標本

## 年間スケジュール 変更について

設置準備室ニュース3（2020年1月発行）に掲載した年間スケジュールは、感染症対策のため、大幅に変更となりました。

最新情報は附属総合ミュージアムのホームページ  
(<http://www.mukogawa-u.ac.jp/~museum>)

に掲載していく予定です。

右のQRコードで簡単にアクセスできます。

*Let's access!*



## 館蔵資料紹介 \_ 裁縫箱



裁縫箱

昭和27年頃 21.3×33.4×27.1 (2019年受贈)

裁縫道具は、箆笥類や下駄箱、茶箆笥や茶道具、化粧道具等と並ぶ花嫁道具の一つでした。

裁縫箱には、抽斗の隅々まで小さく巧妙に作られた、驚くほど多様な裁縫用具が詰め込まれています。裁縫道具は、衣を縫い、綴れをさす主婦や母親のかたわらに常にあって、彼女たちの居場所や働く姿のシンボルとなっていました。裁縫道具は、モノづくりの職人道具のように細大もらさず目配りされ、壮観な趣を呈している一方で、メモ用の紙片のような日常の用事に対応するものも見つかり、主婦としての女性の暮らしを浮かび上がらせています。

昭和27年頃の裁縫道具は、ほぼ和裁用であるが、「目打ち」のような洋裁用具が混じっているのがわかります。

武庫川女子大学附属総合ミュージアム

設置準備室ニュース改題

ミュージアムニュース No.1

2020年6月発行

〒663-8558 西宮市池開町6-46

学術研究交流館 (IR 館) 4階

TEL/FAX (0798) 45-3509

haku@mukogawa-u.ac.jp

<http://www.mukogawa-u.ac.jp/~museum>

ニュース内で使用しているイラストは附属総合ミュージアムで作成しました



*Welcome!*

